

BS・CSラインブースター FM・VHF・UHFパス混合回路内蔵

MODEL
CSBE25L

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

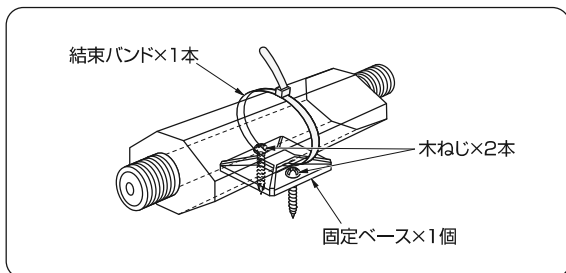
1. 本器は、BS・CS-IF信号(1032~3224MHz)を増幅するとともにFM・VHF・UHFの信号(10~770MHz)を通過させることができます。
2. 現在のBS・CS放送にも対応いたします。
3. 本器はシールド構造となっておりますので、電波の漏洩や飛び込み防止に効果があります。

■標準性能表

周波数帯域 (MHz)	FM・VHF・UHF・CATV	BS・CS-IF
	10~770	1032~3224
利 得 (dB)	-3.5 (パス) 以上	18~23
最 大 出 力 (dBμV)	—	90 (50波)
雑 音 指 数 (dB)	—	6以下
入 力・出 力 イ ン ピ ー ダ ンス (Ω)	75	
電 圧 定 在 波 比	2.5以下	
重 畳 電 圧 (V/mA)	DC+15.0/最大75	
使 用 温 度 範 囲 (°C)	-20~+50 ※	
外 形 寸 法 (mm)	高さ27.4 幅87.2 厚さ18.4	
質 量 (g)	約65	

※ 本体周囲温度

■付属品



高シールド

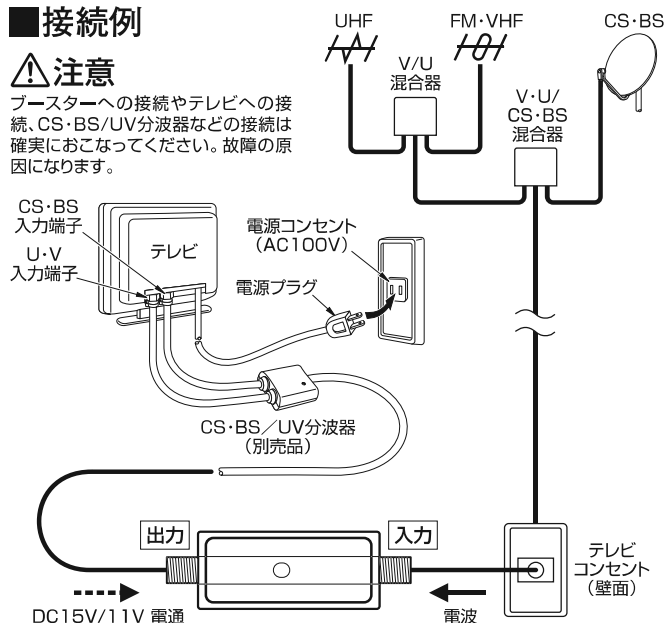
このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に記載される当社独自のマークです。



■接続例

⚠️注意

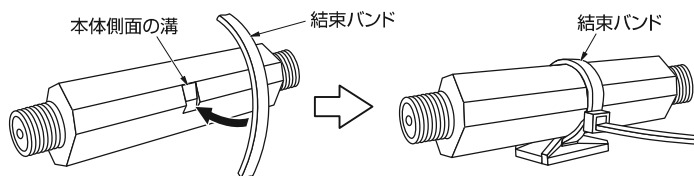
ブースターへの接続やテレビへの接続、CS・BS/UV分波器などの接続は確実にこなしてください。故障の原因になります。



ポイント 入力端子から送電できません。

●本器はテレビレコーダーなどからアンテナ側へ送る電気で動作します。

■固定方法のしかた



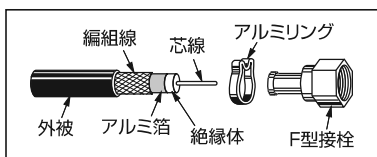
●本器側面の溝に付属の結束バンドを掛けてご使用ください。

■同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

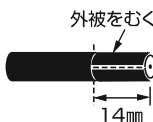
◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



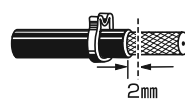
1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



2. 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



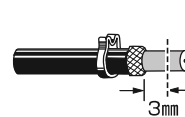
3. 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



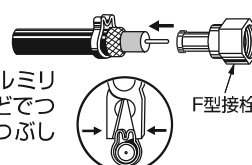
4. 編組線をめくりあげます。



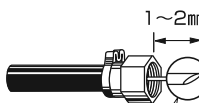
5. 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



6. F型接栓をアルミ箔と編組線の間に入らし、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



7. 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。



芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

●締付トルク F型接栓 約2.0N・m(約20kgf・cm)

■使用上の注意

アンテナレベルについて

- デジタルテレビなどの“アンテナレベル”の数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本器を使用しても大きくなるとは限りません。

デジタル放送受信について

- 本器設置後、テレビ画面が映らない(ブラックアウト)、画面上にモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などの症状が出る場合は、調整の他に以下の項目をご確認(調整して)ください。
 - ーテレビ(チューナー)への入力レベルが低い場合ー
 - 地上デジタル放送受信の場合は、受信エリアをご確認ください。
 - アンテナの位置、方向および高さなどを、調整してください。
 - ーテレビ(チューナー)への入力レベルが高い場合ー
 - テレビのアンテナ入力端子に減衰器(アッテネーター・別売品)を取付けてください。
- チャンネル間のレベル差が極端に大きいと、レベルの低いチャンネルにモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などが出る場合があります。

機器の接続について

- 入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実にこなってください。(入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。)
- F型接栓の接続は確実にこなってください。F型接栓がゆるんでいると、ケーブルの振動などにより、F型接栓がはずれることがあります。

ポイント

4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器、同軸ケーブルなどは、すべて3224MHzまでの周波数帯域で特性が保証されているものをご使用ください。

- 本器は入力端子からBS・CSアンテナへの送電機能はございません。

保証書

型名	CSBE25L		
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話番号 ()		
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日			
保証期間(お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
 - ②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - ④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪本書のご提示がない場合。
 - ⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
 5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

7112025 平成29年7月